

平成30年松本市議会第3回臨時会

市長提案説明

[30.10.31(水) AM10:00]

本日ここに、平成30年松本市議会第3回臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、おそろいでご出席いただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、すでにご承知のとおり、先月30日に開催を予定しておりました「第2回松本マラソン」は、大型の台風24号の影響の中、大会運営におけるランナーやボランティアなどの皆様の安全を第一として熟慮を重ね、断腸の思いで中止といたしました。

今回の中止をめぐって、様々なご意見をいただきましたが、首都圏を中心とする当日早々の交通機関の運休などから、この度の判断について、大方ご理解いただいたものと捉えております。

この大会、そして、この松本の一日のために長い期間にわたって調整を重ね、トレーニングに励まれてこられました県内外からの多くのランナーの皆様には、誠に申し訳なく思っております。

実行委員会といたしましては、エントリーされた全員の方々に、フィニッシャータオルをお届けするなど、その後のケアに万全を期しているところであります。

今後は、来年10月6日に開催を予定しております第3回松本マラソンに向け、ランナーやボランティアの皆様などからいただいているお声を大切にし、大会内容の充実に一層努め、大勢の皆様のご参加を呼び掛けてまいります。

次に、「一般財団法人森記念財団 都市戦略研究所」が今月3日に公表いたしました、国内主要72都市を対象とする「日本の都市特性評価2018」について申し上げます。

この調査は、地方創生に向け地方都市の活力をいかに取り戻すかという視点に立ち、6つの分野について83の指標を用いて、都市の持つ力を定量・定性データを基に、相対的かつ多角的に分析し、都市の強みや魅力といった都市特性を明らかにすることを目的として行われました。

その分析調査結果では、ランキング上位のほとんどを政令指定都市が占める中、松本市は総合第13位にランキングされ、地方都市として高く評価されました。

中でも、「生活・居住」並びに「環境」の2つの分野におきましては、第2位という極めて高い評価を受ける一方で、私としてもいささか驚きを感じたところではございますが、これまで本市の弱みと言われてきました「経済・ビジネス」の分野におきまして、第12位にランキングされたところでございます。

現時点では概要が発表された段階であり、内容等の分析につきましては、今後、詳細な結果が公表されてから行いたいと考えております。

いずれにいたしましても、こうした第三者の大手シンクタンクによる、客観的な指標に基づく国内主要都市を評価対象としたランキングでは、ご承知のとおり、昨年7月に発表された、株式会社野村総合研究所による成長可能性調査に続いての高い評価となりました。

私といたしましては、大変有難く受け止めるとともに、これまで市民の皆様と共に取り組んできたまちづくりの成果であり、今後も、こうした評価を踏まえ、自信と誇りを

もって、議会を始め、市民の皆様と共に、更に「いいまち松本」のまちづくりを目指し、市政運営に邁進してまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申しあげます。

次に、2027年に長野県で開催される「第82回国民体育大会、並びに第27回全国障害者スポーツ大会」について申しあげます。

ご承知のとおり、去る17日、県の準備委員会総務企画専門委員会は、総合開閉会式の会場を、松本市の県松本平広域公園陸上競技場とすることについて審議し、承認いたしました。

正式な決定は、来月開催予定の常任委員会となりますが、これまで松本市は、松本広域3市5村及び3市体育協会と連携し、国体の主会場誘致について長野県知事に要望してきたことから、大変嬉しく思っております。

今後、県におかれましては、総合開閉会式の会場となる、松本平広域公園陸上競技場の適切な整備を進めていただくようお願いいたします。

松本市といたしましても、市民皆スポーツの気運を高めるとともに、国体の成功に向け、大会運営について長野県と協力し、準備を進めてまいります。

次に、来月8日、9日に「気づきと学びが未来を変える」をテーマに開催する、「第8回世界健康首都会議」について申しあげます。

今回の会議では、市民、企業、大学、行政などが、それぞれの立場で「健康な社会」とは何かを考えた時、何を社

会課題として捉えるか、また、課題に気づくだけでなく、更に一步踏み出すために何が必要かを、様々な先進事例から学びます。

一方、海外基調講演では、世界的なロボット工学研究者で、知育玩具メーカーLEGO（レゴ）社のレゴラボ創設者でもある、デンマーク工科大学のヘンリック・ハウトupp・ルンド教授、また、英国より、英国政府次席医務官のジーナ・ラドフォード教授を迎え、ご講演をいただきます。

恒例のパネルディスカッションでは、三菱総合研究所理事長小宮山宏氏をコーディネーターに、経済産業省政策統括調整官の江崎禎英氏や、株式会社フィリップス・ジャパン代表取締役社長の堤浩幸氏ほかをパネリストとしてお迎えし、未来においても社会を健康に維持させていくため、現世代が次世代にすべきことなどについて、ご議論いただくこととしております。

更に、中央体育館で開催するブース展へは、「一般財団法人松本ものづくり産業支援センター」と連携し、地元ものづくり企業にスポットを当てるなど、昨年の約2倍に及ぶ49企業・団体の出展を予定しております。

今後とも、市民の皆様の参加しやすさに配慮しながら、健康づくりと関連産業の振興を目的とした学びの場の提供と、国内外へ「健康寿命延伸都市・松本」の情報発信を行ってまいりますので、議員の皆様におかれましても、是非、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

それでは、ただいま上程されました議案につきまして、ご説明申し上げます。

本日提案申しあげました議案は、財産3件でございます。

いずれも、事業の進捗を一層図るため、事業用地を取得するものでございます。

そのほか、議案以外のものとしたしましては、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告4件を報告いたしております。

以上、本日提案いたしました議案等についてご説明申しあげましたので、よろしくご審議を賜りますようお願い申しあげます。

(以 上)